

## SilkTest 2011

---



リリースノート

**Micro Focus**  
575 Anton Blvd., Suite 510  
Costa Mesa, CA 92626

Copyright © Micro Focus IP Development Limited 2011. All rights reserved. SilkTest  
は Borland Software Corporation に由来する成果物を含んでいます, Copyright 2011  
Borland Software Corporation (a Micro Focus company).

MICRO FOCUS, Micro Focus ロゴ、及びその他は Micro Focus IP Development Limited ま  
たはその米国、英国、その他の国に存在する子会社・関連会社の商標または登録商標です。

その他、記載の各名称は、各所有社の知的所有財産です。

2011-12-07

# 目次

<b>SilkTest 2011 リリース ノート</b> .....	<b>4</b>
SilkTest の新機能 .....	4
Internet Explorer 9 のサポート .....	4
Mozilla Firefox 5 および Mozilla Firefox 6 のサポート .....	4
Micro Focus Rumba のサポート .....	4
Microsoft Silverlight のサポート .....	4
ユーザー アカウント制御 .....	4
Java アプリケーションの 64 ビット サポート .....	5
Adobe Flex 4.x のサポート .....	5
SilkTest 製品スイート .....	5
システム要件および前提条件 .....	5
ハードウェア要件 .....	5
プラットフォーム サポート .....	6
テスト済みの構成 .....	7
Adobe Flex のサポート .....	9
Java のサポート .....	9
SilkTest Classic の DSN サポート .....	10
サポート終了コンポーネント .....	10
SilkTest 2011 でサポート終了となるコンポーネント .....	10
SilkTest の次のリリースでサポート終了となるコンポーネント .....	10
SilkTest の次のリリース後のリリースでサポート終了となるコンポーネント .....	11
解決済みの問題 .....	11
既知の問題 .....	12
SAP アプリケーション .....	12
Web アプリケーション .....	13
SilkTest Workbench .....	13
一般的な問題 .....	16
SilkTest Classic .....	17
インストール手順 .....	17

# SilkTest 2011 リリースノート

## 2011年11月

このファイルでは、ヘルプには表示されない場合もある重要な情報について説明します。このファイル全体をお読みください。

インストールおよびライセンスの問題については、『*SilkTest インストールガイド*』を参照してください。

このドキュメントの最新のバージョンについては、[http://supportline.microfocus.com/Documentation/books/ASQ/SilkTest/2011/ja/SilkTest\\_ReleaseNotes.pdf](http://supportline.microfocus.com/Documentation/books/ASQ/SilkTest/2011/ja/SilkTest_ReleaseNotes.pdf) を参照してください。

カスタマー ケアからサポートを受けるには、[supportline.microfocus.com](http://supportline.microfocus.com) に移動してください。

## SilkTest の新機能

このセクションでは、製品スイートのすべての製品について、SilkTest に対して行われた重要な改善と変更の一覧を提供します。

SilkTest 2011 では、以下の機能をサポートしています。

### Internet Explorer 9 のサポート

SilkTest では、Internet Explorer 9 Web ブラウザで実行されるアプリケーションの記録と再生がサポートされています。

### Mozilla Firefox 5 および Mozilla Firefox 6 のサポート

SilkTest では、Mozilla Firefox 5 または Mozilla Firefox 6 Web ブラウザで実行されるアプリケーションの再生がサポートされています。

### Micro Focus Rumba のサポート


SilkTest では、Micro Focus Rumba を使用して開発されたアプリケーションの記録と再生がサポートされています。

### Microsoft Silverlight のサポート

SilkTest では、Microsoft Silverlight を使用して開発されたアプリケーションの記録と再生がサポートされています。

## ユーザー アカウント制御

SilkTest では、UAC が有効な状態でアプリケーションをテストできます。SilkTest Classic と Classic Agent でアプリケーションをテストする場合にのみ、UAC を無効化する必要があります。

 **注:** UAC が有効な状態で、SilkTest を使用する場合は、SilkTest にインストール ディレクトリへの書き込み権限が必要となるため、SilkTest の Program Files ディレクトリへのインストールは推奨しません。SilkTest を Program Files ディレクトリへインストールした場合は、SilkTest のデータベースを構成するために管理者権限が必要です。

# Java アプリケーションの 64 ビット サポート

SilkTest では、以下の Java ツールキットを使用して開発された 64 ビット Java アプリケーションのテストがサポートされています。

- AWT
- Swing
- Standard Widget Toolkit (SWT)

## Adobe Flex 4.x のサポート

新しい Flex 4.x コントロール以外に、SilkTest では、Flex 3.x および 4.x アプリケーションにおいて複数のアプリケーション ドメインもサポートされているため、サブアプリケーションをテストできます。

## SilkTest 製品スイート

SilkTest 製品スイートには、以下のコンポーネントが含まれています。

- SilkTest Workbench : SilkTest Workbench は、新しいネイティブ品質テスト環境です。上級者用の .NET スクリプトと、テストのアクセス可能性を高める革新的なストーリーボードベースのビジュアル テストが提供されます。
- Silk4NET : Silk4NET Visual Studio プラグインを使用すると、Visual Studio で直接 Visual Basic または C# のテスト スクリプトを作成できます。
- Silk4J : Silk4J Eclipse プラグインを使用すると、Eclipse 環境で直接 Java ベースのテスト スクリプトを作成できます。
- SilkTest Recorder : SilkTest Recorder を使用すると、GUI を使用してテストを記録および再生し、これらのテストを SilkTest Classic、Silk4J、または Silk4NET にエクスポートできます。
- SilkTest Classic : SilkTest Classic は、従来の 4Test SilkTest 製品です。
- SilkTest Agent : SilkTest Agent は、テストのコマンドを GUI 固有のコマンドに変換するソフトウェア プロセスです。つまり、テストするアプリケーションをエージェントが動かす、監視しています。ホストマシン上で 1 つのエージェントをローカルに実行できます。ネットワーク環境では、任意の数のエージェントをリモート マシン上で実行できます。

## システム要件および前提条件

以下のセクションでは、SilkTest をインストールして実行するためのシステム要件を示します。

### ハードウェア要件

以下のハードウェア要件をお勧めします。

システム領域	要件
プロセッサ	Intel または AMD の DualCore プロセッサ (2 GHz)
RAM	2 GB
ハード ディスク領域	2 GB の空きディスク領域



**注:** 自作機 (ベアボーンキット、ショップブランド機を含む) は動作保証外です。

# プラットフォーム サポート

## プラットフォーム

SilkTest 2011 は、以下のプラットフォームで実行されます。

- Windows XP SP3
- Windows Vista SP1\* または SP2
- Windows 7
- Windows 7 SP1
- Windows 2008
- Windows 2008 R2

## テクノロジー ドメインおよびブラウザ


SilkTest 2011 では、以下のブラウザを使用するアプリケーションまたは以下で開発されるアプリケーションがサポートされています。

テクノロジーの種類	Open Agent を使用する SilkTest Workbench、SilkTest Recorder、Silk4NET、Silk4J、SilkTest Classic でサポートされるバージョン	Classic Agent を使用する SilkTest Classic でサポートされるバージョン
Adobe Flex	3.0*、3.2*、3.3*、3.4*、3.5、4.0、4.1、4.5.1	サポート対象外
Firefox	3.0*、3.5*、4.0*、5.0、6.0 (すべて再生のみ)	サポート対象外
Internet Explorer	6*、7、8、9	6*、7、8 (再生のみ)
Java AWT/Swing	Java 1.6	Java 1.6*
Java SWT	3.2*、3.3*、3.4*、3.5、3.6、3.7	サポート対象外
SAP	SAPGUI クライアント 7.10、SAPGUI クライアント 7.20	サポート対象外
Silverlight	3 (Silverlight Runtime 4)、4 (Silverlight Runtime 4)	サポート対象外
Rumba	8.1、8.2	サポート対象外
Win 32	任意	32 ビット
WinForms	.NET 2.0*、3.0、3.5、3.5 SP1、4.0	サポート対象外
WPF	.NET 3.5 SP1、4.0	サポート対象外


## データベース

SilkTest 2011 では、SilkTest Workbench の資産の格納について、以下のデータベースがサポートされています。オペレーティング システムについては、注記を参照してください。

- SQL Server 2008 (SP2) + Express
- SQL Server 2005 (SP3) + Express
- Oracle 11.1\*
- Oracle 11.2\*

 **注:** SilkTest のインストール時に SQL Server 2008 Express SP2 をインストールすることを選択する場合は、以下のサポート対象オペレーティング システムのいずれかがあることを確認してください。

- Windows 7
- Windows Server 2008
- Windows Server 2008 R2
- Windows Vista SP1\* または SP2

 **注:** Windows Vista SP1 の場合、.NET 3.5 SP1 または 4.0 の完全バージョンをコンピュータにインストールしてから、SQL Server をインストールする必要があります。この要件を満たさない場合は、SQL Server Express がインストールされません。.NET 3.5 SP1 または 4.0 の完全バージョンをインストールするには、Microsoft の Web サイトからダウンロードします。

- Windows XP Service Pack 3

\* これらのオペレーティング システム、機能、および統合は、SilkTest の将来のバージョンでサポートされなくなる予定です。追加の情報については、サポート終了コンポーネントを参照してください。

### Eclipse 環境

Silk4J は、Eclipse 3.4 以降と統合できます。

### Visual Studio 環境

Silk4NET は、Visual Studio 2010 Professional 以降と統合できます。

## テスト済みの構成

テスト済みの構成をプラットフォーム別に以下に示します。すべての組み合わせをテストすることは不可能であることに注意してください。経験上、組み合わせが異なると SilkTest での動作は異なる場合があります。Micro Focus では、可能なかぎり多くの組み合わせをテストしています。

 **注:** SilkTest は 64 ビット オペレーティング システムで使用できますが、SilkTest では Java、.NET および Windows API ベースのアプリケーションについてのみ 64 ビット アプリケーションのテストがサポートされています。SilkTest では、Classic Agent を使用した 64 ビット アプリケーションのテストはサポートされていません。

プラットフォームの種類	Open Agent を使用する SilkTest Workbench、SilkTest Recorder、Silk4NET、Silk4J、SilkTest Classic のテスト済みの構成	Classic Agent を使用する SilkTest Classic のテスト済みの構成
Microsoft Windows 7 (32 ビット) Microsoft Windows Server 2008 SP2 (32 ビット)	Windows Internet Explorer 8 Mozilla Firefox 5.0 Flex 3.5、4.1、4.5.1 Java 1.6 (AWT/Swing) SWT 3.5、3.6 .NET 3.5 (WinForms) .NET 4.0 (WPF、WinForms) Win 32	Windows Internet Explorer 8 (再生のみ) Win 32

プラットフォームの種類	Open Agent を使用する SilkTest Workbench、SilkTest Recorder、Silk4NET、Silk4J、SilkTest Classic のテスト済みの構成	Classic Agent を使用する SilkTest Classic のテスト済みの構成
	SAPGUI クライアント 7.10 パッチ 13 (Microsoft Windows Server 2008 SP2 (32 ビット))  SAPGUI クライアント 7.20 パッチ 6 (Microsoft Windows 7 SP2 (32 ビット))  Microsoft Silverlight 3 Microsoft Silverlight 4 Rumba 8.1	
Microsoft Windows Vista SP2 (32 ビット)	Windows Internet Explorer 7 Flex 3.5、4.1、4.5.1 Java 1.6 (AWT/Swing) SWT 3.5、3.6 .NET 3.5 (WinForms) .NET 4.0 (WPF、WinForms) Win 32 SAPGUI クライアント 7.10 パッチ 13 Microsoft Silverlight 4 Rumba 8.1	Windows Internet Explorer 7 Win 32
Microsoft Windows XP SP3 (32 ビット)	Flex 4.1 Java 1.6 (AWT/Swing) SWT 3.5、3.6 .NET 3.5 (WinForms) .NET 4.0 (WPF、WinForms) Win 32 SAPGUI クライアント 7.10 パッチ 13 Microsoft Silverlight 4 Rumba 8.1	Windows Internet Explorer 8 (再生のみ) Win 32
Microsoft Windows 7 SP1 (64 ビット)	Windows Internet Explorer 9 (32 ビット) Mozilla Firefox6.0 (32 ビット) .NET 4.0 (WPF、WinForms) Win 32 SWT 3.6.1 Java 1.6 (AWT/Swing) Microsoft Silverlight 4 Rumba 8.2	



プラットフォームの種類	Open Agent を使用する SilkTest Workbench、SilkTest Recorder、Silk4NET、Silk4J、SilkTest Classic のテスト済みの構成	Classic Agent を使用する SilkTest Classic のテスト済みの構成
Microsoft Windows Vista SP2 (64 ビット) Microsoft Windows Server 2008 R2 SP1 (64 ビット)	Windows Internet Explorer 8 (32 ビット) Mozilla Firefox 5.0 (32 ビット) (Microsoft Windows Vista) .NET 4.0 (WPF) Win 32 SWT 3.6.1 Java 1.6 (AWT/Swing) Microsoft Silverlight 4 Rumba 8.2	

## Adobe Flex のサポート

SilkTest では、すべてのサポートされるブラウザおよび Adobe AIR 2.0 以降 (Flex 4.x でビルド) を使用した Flex 3.0\*、3.2\*、3.3\*、3.4\*、3.5、4.0、4.1、および 4.5.1 のテストがサポートされています。

\* これらのバージョンは、SilkTest の将来のバージョンでサポートされなくなる予定です。追加の情報については、サポート終了コンポーネントを参照してください。

## Java のサポート

### Open Agent のサポート

SilkTest では、Open Agent を使用する SilkTest Workbench、SilkTest Recorder、Silk4NET、Silk4J、SilkTest Classic について以下の Java コンポーネントがサポートされています。

- SWT 3.2\*、3.3\*、3.4\*、3.5、3.6、および 3.7 スタンドアロン アプリケーションおよび Rich Client Platform (RCP) アプリケーション (ブラウザでアプレットとして実行される SWT スタンドアロン アプリケーションはサポートされていません)
- Java バージョン 1.6
- AWT
- Swing (Java Foundation Class を含む)
- アプレット (すべてのサポート対象ブラウザで)

SilkTest では、Classic Agent を使用する SilkTest Classic について以下の Java コンポーネントがサポートされています。

- Java バージョン 1.6\*
- AWT\*
- Java Foundation Class (JFC、Swing) \*
- Symantec Visual Café
- アプレット



**注:** アプレットは Internet Explorer 8 ではサポートされていません。

\* これらのバージョンは、SilkTest の将来のバージョンでサポートされなくなる予定です。追加の情報については、サポート終了コンポーネントを参照してください。

## SilkTest Classic の DSN サポート

SilkTest Classic のデータドリブン ワークフローは、以下をサポートします。

- テキスト ファイルおよびカンマ区切り値ファイル (\*.txt ファイルおよび \*.csv ファイル)
- MS Excel
- MS Access
- MS SQL Server
- Oracle (部分的なサポート)
- SyBase SQL Anywhere

SilkTest Classic は、ODBC を使用して上記のデータベースにアクセスするため、有効な ODBC ドライバを持つこれらのデータベースのバージョンをサポートします。



**注:** SilkTest Classic の **Select Data Source** ダイアログ ボックスで、Silk DDA Excel または Segue DDA Excel のいずれかのデータ ソースを選択できます。新しいデータドリブン テストケースの場合は、Silk DDA Excel データ ソースを選択します。Segue DDA Excel データ ソースは後方互換性のために選択します。これにより、Segue DDA Excel を参照する既存の .g.t ファイルが引き続き機能します。

## サポート終了コンポーネント

このセクションでは、SilkTest の現在および将来のバージョンでサポートされなくなるオペレーティング システム、機能、および統合を示します。

### SilkTest 2011 でサポート終了となるコンポーネント

以下のオペレーティング システム、機能、および統合は、SilkTest 2011 からサポートされなくなりました。

- StarTeam 統合
- PVCS 統合
- SilkTest Classic 4Test アウトライン エディタ モード



**注:** SilkTest Classic は引き続きサポートされます。この変更は、ほとんどの SilkTest Classic ユーザーに対して影響はありません。

- Java 1.4
- Microsoft Windows Server 2003
- Microsoft Windows XP SP2

### SilkTest の次のリリースでサポート終了となるコンポーネント

以下のオペレーティング システム、機能、および統合は、SilkTest の次のリリースでサポートされなくなります。

- Adobe Air 1.6
- Classic OCR
- Mozilla Firefox 3.0
- IBM JRE 1.5
- Java 1.5
- MSUIA テクノロジ ドメイン。WPF テクノロジ ドメインは引き続きサポートされます。

# SilkTest の次のリリース後のリリースでサポート終了となるコンポーネント

以下のオペレーティング システム、機能、および統合は、SilkTest の次のリリース後のリリースでサポートされなくなります。

- Windows Internet Explorer 6
- Java SWT 3.2、3.3、3.4
- Mozilla Firefox 3.5
- Mozilla Firefox 4.0
- Java AWT/Swing (Classic Agent 上で)
- SilkBean
- WinForms .NET 2.0
- Oracle 11.1、11.2
- Microsoft Windows Vista SP1
- Adobe Flex SDK 3.0、3.2、3.3、3.4

## 解決済みの問題

以下の問題が解決されています。

問題番号	説明	メモ
RPI 571994	SilkTest Workbench でテストを実行するときに「License Check Failed - Agent is running in SCTM mode」エラーが発生する	
RPI 576760	終了時にアプリケーションがユーザーにプロンプトを表示する場合、再生中にエラーが発生する	Knowledge Base の記事 31353
RPI 577377	SQL Server Express 2008 をインストールするときに、TCP/IP がデフォルトで有効にならない	Knowledge Base の記事 31506
RPI 580861	SilkTest をアンインストールすると手動で登録した SilkTest データベースの ODBC エントリが削除される	
RPI 581638	「ロック済みのオブジェクトマップに対してロケータを記録する」を「はい」に設定すると、オブジェクトマップがロックされていない場合でも常にロケータが記録される	
RPI 1074627	IFrame 内の内容を参照する Open Agent の機能	
RPI 1075485	[表示] ツールバーで [アセット ブラウザの表示] ボタンを使用すると、既存または最近使用したアセット ブラウザ ウィンドウが表示されるのではなく、新しいアセット ブラウザ ウィンドウが開かれる	
RPI 1075548	WPF コントロールを WinForms アプリケーションから起動すると認識されない	
RPI 1075721	FlexTitleWindow がいつ閉じたかを判別できない	
RPI 1075745	Open Agent が .NET クラス名および ID ではなく Win32 クラス名を使用する	
RPI 1075867	読み取り専用のファイルを含むプロジェクトが正しく開かない	

問題番号	説明	メモ
RPI 1075889、 RPI 1076205、 RPI 1076316	Silk Test Classic 2010 がウィンドウ宣言の記録でクラッシュする	
RPI 1075894	GetTestPlanName が、testplan 内にないときに誤った値を返す	
RPI 1076002	GetContents の bRawMode に False を指定しても特殊文字を返す	
RPI 1076148	WPF 4.0 : 同期化の問題	
RPI 1076326	SilkTest 2010 テスト スクリプトの実行が SilkTest 2009 テスト スクリプトの実行よりも遅い	
RPI 1076701	パスに「ä」、「ö」、または「ü」があると CaptureBitmap が機能しない	
RPI 1076911	Repeat-While ループでの SilkTest Workbench/ ビジュアル テストの障害	
RPI 1077108	GetCloseWindows() 呼び出しでのハンドルの問題	
RPI 1077168	OpenContextSelect メソッドを使用しているときの意味のあるエラー メッセージ	
RPI 1077181	Java オブジェクトに対する GetItemRect	

## 既知の問題

このセクションでは、SilkTest の既知の問題とその解決策を示します。

## SAP アプリケーション

### SAPTree クラスの HierarchyHeaderWidth および ColumnOrder プロパティが書き込み専用になっている

自動化に関するドキュメントに記載されている場合を除いて、SAPTree の HierarchyHeaderWidth および ColumnOrder プロパティは書き込み専用で、読み込むことはできません。

これらのプロパティを使用する場合、スクリプトで、読み込みではなく、書き込みが使用されていることを確認します。

### SAPTree クラスの GetColumnIndexFromName() が「特定できないエラー」により失敗する

SapTree クラスの GetColumnIndexFromName() は「特定できないエラー」により失敗することがあります。これは SAP オートメーションの既知の問題です。

SAP Web サイトでこの問題が解決されているかどうか確認してください。

### コンテキスト メニュー項目の SAPTree クラスの Select() メソッドの呼び出しに失敗する

コンテキスト メニュー項目の SAPTree クラスの Select() メソッドの呼び出しに失敗することがあります。

代わりに親コントロールの SelectContextMenuItem を呼び出します。これは SAP オートメーションの既知の問題です。

### 水平スクロールバーの Position プロパティが常に 1 を返す

水平スクロールバーの Position プロパティは常に 1 を返します。これは SAP オートメーションの既知の問題です。

SAP Web サイトでこの問題が解決されているかどうか確認してください。

### SAPNetPlan クラスがサポートされていない

この問題は今後のリリースで解決される予定です。

### SAP スクリプトを高速モードで実行すると、再生エラーが発生する

SAP テストを SilkTest Recorder を使用して記録し、**再生速度: 速い** 設定で再生すると、エラーが発生する場合があります。エラー メッセージは、「この操作を完了するのに必要なデータは、まだ利用できません」です。

再生速度をこれより遅い設定に変更します。または、xBrowser ではなく、SAP オートメーションを使用して問題が発生する操作を再生するように、スクリプトを変更します。たとえば、その操作を DomLink.Select から SapHTMLViewer.SapEvent に変更します。

## Web アプリケーション

### Google ツールバーを使用すると、Web アプリケーションの記録に支障をきたす

Internet Explorer 8 で Google ツールバーを使用すると、Web アプリケーションのロケータの記録に支障をきたします。

Google ツールバーをオフにしてから、Web アプリケーションを記録してください。

## SilkTest Workbench

### スクリプトの再生時にバックグラウンドにメッセージ ボックスが表示される (31314)

メッセージ ボックスのステートメント (MsgBox ("Hello") など) を .NET スクリプトに含めた場合、スクリプトの再生時にバックグラウンドにメッセージ ボックスが表示されます。

メッセージ ボックスをフォアグラウンドに表示するには、MsgBox ステートメントに MsgBoxStyle.MsgBoxSetForeground を含めます。例：

```
MsgBox ("Hello", MsgBoxStyle.MsgBoxSetForeground)
```

### インストーラが SQL Server Native Client のインストールと COM サーバーとしての SilkTest Workbench の登録に失敗する

SilkTest のインストール中またはインストール前に、オペレーティング システムが自動更新を実行するか、またはユーザーが Windows アップデートを行った場合、インストーラは SQL Server Native Client のインストールと COM サーバーとしての SilkTest Workbench の登録に失敗します。

これらの問題は共に、SilkCentral Test Manager (SCTM) の統合に影響を与えます。それは、SCTM では SQL Server Express によってインストールされたネイティブ クライアント ドライバを使用して SilkTest Workbench DSN を作成するためです。さらに SCTM は、自動化に COM インターフェイスを使用するには、COM サーバーとして登録された SilkTest Workbench を必要とするためです。

以下の解決策のいずれかを選択します。

1. Windows アップデートの実行中に SilkTest をインストールしない。
2. 使用しているマシンに Windows アップデートが自動的にインストールされないようにする。
3. 保留中の Windows アップデートを SilkTest より先にインストールしてから、システムを再起動し SilkTest をインストールする。

## 複数の修飾キーを含めるようホット キーの組み合わせを変更すると、追加のキーが記録される

検証の挿入用または記録の開始/停止用に複数の修飾キーを含むホットキーを構成している場合は、修飾キーを押す操作が記録されることがあります。たとえば、Alt+Ctrl+F9 というホット キーの組み合わせを指定した場合、Alt は、ホット キーの組み合わせの一部として無視されるのではなく、キーを押す操作として記録されることがあります。これは、キーから手を離すという対応する操作がないため、再生時に問題になります。

修飾キーに関連するこの操作を手動で削除するか、ホット キーの修飾キーを 1 つだけ使用します。

## SQL Server DSN が 64 ビット システムで動作しない

64 ビット DSN は SilkTest Workbench で使用できません。C:%WINDOWS¥SysWOW64¥odbcad32.exe にある WOW64 ツールを使用して 32 ビット DSN を作成します。

## SilkCentral Test Manager を SilkTest Workbench の前にインストールするとエラーが発生する

「SilkTest Workbench に接続できません。 インストールされているかどうか確認してください」というエラーが、SilkTest Workbench スクリプトを SilkCentral Test Manager から実行すると発生します。このエラーは、SilkCentral Test Manager を SilkTest Workbench より前にインストールして、マシンを再起動しなかったために発生します。

SilkCentral Test Manager を SilkTest Workbench より前にインストールする場合は、SilkTest Workbench のインストール後にマシンを再起動します。または、SilkCentral Test Manager をインストールする前に SilkTest Workbench をインストールします。

## SilkTest Workbench を起動するのにネットワーク接続が必要になる

SilkTest Workbench を起動するためには、ネットワーク接続が必要です。ネットワーク接続が使用できない場合、エラー「Open Agent との接続に失敗しました」が発生します。他のクライアント (SilkTest Classic、SilkTest Recorder など) を起動する場合には、ネットワーク接続は必要ありません。

SilkTest Workbench を起動する前に、ネットワーク接続が使用可能であることを確認してください。

## SQL Server Express を Windows Vista SP1 マシンにインストールできない

Windows Vista SP1 マシンでは、SilkTest のインストール中に SQL Server 2008 をインストールする場合、.NET 3.5 SP1 の完全バージョンがインストールされていることを確認してください。.NET 3.5 SP1 の完全バージョンをインストールするには、Microsoft の Web サイトからダウンロードします。

## For ループが使用されている場合、オートコンプリートおよび構文に関するヒントが不完全になる

For ループが .NET スクリプトで使用されている場合、最初にコードを入力したときに構文ヒントにオブジェクト メソッドだけが表示されます。

この問題は、Actipro の次の保守リリースで解決済みです。ただし、リリースのスケジュールは不明です。メソッドとプロパティを構文ヒントに表示するには、コードを編集して引数を含めるようにします。たとえば、以下のコードでは、構文ヒントにメソッドだけが表示されます。

```
Dim ad as ActiveData = Workbench.LoadActiveData("myAD")
Dim adr as ActiveDataRow

For each adr in ad
Next adr
```

メソッドとプロパティを表示するには、For コードを以下のとおり編集します。

```
For each adr as ActiveDataRow in ad
```

## 無効なオブジェクト マップ エントリで、斜体で表示されない漢字がある

無効なオブジェクト マップ エントリが発生した場合、一部の漢字は斜体で表示されません。

無効なオブジェクト マップ エントリを識別するには、無効なエントリに割り当てられる赤色のテキスト、または **次のエラー** と **前のエラー** ツールバー ボタンを使用します。

### **[画面プレビューから識別] により、移行されたデータベースに不正なオブジェクト マップ項目が作成される**

SilkTest Workbench 2010 から SilkTest Workbench 2010 R2 に移行したあと、**画面プレビューから識別** を使用すると不正なオブジェクト マップ項目が作成されます。

**画面プレビューから識別** を使用する前に、**画面の更新** コマンドを使用して、画面を再キャプチャします。

### **.NET アプリケーションを DevPartner Studio (DPS) から起動すると、SilkTest で認識されない**

この問題を解決するには、以下のステップを実行します。

1. SilkTest のインストール フォルダ (デフォルトでは、C:\Program Files\Silk\SilkTest にあります) に移動します。
2. Windows Forms アプリケーションの場合は、ng\agent\plugins \com.borland.fastxd.techdomain.windowsforms.agent\_11.1.0.4444 へ移動します。
3. Windows Presentation Foundation (WPF) の場合は、ng\agent\plugins \com.microfocus.silktest.techdomain.wpf.agent\_11.1.0.4444 へ移動します。
4. メモ帳で、ファイル plugin.xml を開いて、<loadparameters> セクションに以下の行を追加します。

```
<param name="frameworkAssembly">mscorlib.dll</param>
```
5. SilkTest のインストール フォルダの ng\agent フォルダ (デフォルトでは、C:\Program Files\Silk\SilkTest\ng\agent にあります) に移動します。
6. メモ帳で、openagent.ini を開いて、ファイルの 1 番目の行として -clean を追加します。
7. コンピュータからログアウトして、再びログ インします。DevPartner Studio によって起動されたアプリケーションに対して、SilkTest が期待どおりの動作をします。

### **スクリプトで停止を使用すると、エラー メッセージが表示される**

SilkTest Workbench における現在のレベルの VB.NET デバッグ サポートにより、スクリプトでは VB.NET コマンド Stop (および Debugger.Break) を使用しないでください。

### **子スクリプトが親スクリプトから呼び出されると、子スクリプトはスコープ外のオブジェクト マップにアクセスできる**

親スクリプトと子スクリプトが異なるプロジェクトに含まれており、異なるオブジェクト マップを使用している場合、オブジェクト マップが子スクリプトのスコープ外であっても、子スクリプトは正常に実行されます。

スクリプトが正常に実行されるため、解決策は必要ありません。ただし、この動作は今後のリリースでは正常に実行されなくなります。

### **複数ユーザーが SQL 2008 データベース上で同じ資産を同時に編集しようとする、資産のロック機構に関する問題が発生する可能性がある**

問題かどうかをテストするには、ビジュアル テストなどの資産を開いて、SilkTest Workbench で編集できるようにします。資産が開いている間に、SilkTest Workbench の別のインスタンスから同じ資産を開きます。問題が発生した場合は、SilkTest Workbench の 2 番目のインスタンスで同じ資産を同時に編集できるか、または 2 番目のインスタンスが不完全なデータに関するメッセージを受け取ります。このときユーザー名とマシン名は共に空白になります。

SQL Server で、データベースの管理者権限を、このデータベースを使用する SQL データベース ユーザーに割り当てます。

## SQL データベースで資産のエクスポート中に予期しないエラーが発生する

SQL データベースで資産のエクスポート中に予期しないエラー「文字列から uniqueidentifier に変換中、変換に失敗しました」が発生します。

エクスポートしたデータベースをインポートし、何らかのエラー メッセージが表示された場合 OK を押しします。インポートは正常に終了し、資産を使用できます。

## Access データベースの使用中に予期しないエラーが発生する

SilkTest データベース メンテナンス管理ツールを使用してデータベースをコンパクト化します。スタート > すべてのプログラム > Silk > SilkTest <バージョン> > 管理ツール > データベース メンテナンスを選択して、ツールを起動します。次に、データベースを開き、ツール > データベースのコンパクト化を選択します。

## UAC を有効化すると SilkTest Workbench の設定時に SQL Server に接続できない

UAC を有効化した状態で SilkTest Workbench を管理者権限なしで使用している場合、データベースの設定時に SQL Server に接続できません。設定時に SQL Server に接続できるようにするためには、SilkTest Workbench を [ 管理者として実行 ] を使用して起動する必要があります。

# 全般的な問題

## str 関数で四捨五入が正しく実行されない

小数点数/浮動小数点数には、内部バイナリ表現があります。ただし、小数点数値のバイナリ部分が正確に表現されているかどうかを確認することはできません。正確なバイナリ表現を使用できない場合 (数学的制約)、最も近い値が使用されますが、これが str 関数で四捨五入が正しく実行されないように見える問題の原因になります。この問題は回避できます。以下のコードを使用して内部表現を確認します。

```
[ ] printf("%.a20e¥n", 32.495)
[ ] printf("%.a20e¥n", 31.495)
```

## リモート デスクトップまたはリモート デスクトップ接続 (RDC) が最小化されると、SilkTest が機能しない

リモート デスクトップ プロトコル (RDP) 経由でデスクトップに接続している場合、マウスとキーボードを使ってデスクトップに接続することにより、デスクトップの所有権を獲得します。デスクトップの所有権を解放せずにデスクトップを最小化すると、マウス クリックまたはキーストロークの再生がすべて未定義になります。

推奨される構成としては、VMWare サーバーで SilkTest を実行し、VMWare クライアント ソフトウェア経由で接続します。これにより、クライアントが終了された場合でも再生を継続できます。

## SilkTest モニターを実行する前に、agent.exe および partner.exe プロセスが強制終了されたことを確認する

SilkTest モニターまたは GUI レベル テストを実行する場合、モニター実行後に Agent.exe または Partner.exe プロセスが正しく終了せず、一時結果フォルダが開いたままになることがあります。モニター実行中にこの問題が発生すると、以降のモニターがすべて失敗し、エラー「LoadtestController: 3302 - 結果ディレクトリをクリアできませんでした」が表示され、クリアされません。

実行サーバー上で Agent.exe または Partner.exe プロセスを手動で強制終了するか、必要に応じて自動的にプロセスを強制終了する必須アクションを作成します。

## SilkTest は Rumba の日本語バージョンをサポートしていません。

SilkTest はローカライズされていない Rumba バージョン 8.1 と 8.2 をサポートしています。Rumba をローカライズされたオペレーティング システムではテストすることはできません。



## Check Point ファイアウォールがインストールされている場合に Open Agent が起動しない

システムに Check Point ファイアウォールまたは Check Point ZoneAlarm ファイアウォールをインストールしている場合は、ファイアウォールが Agent と infoservice 間の通信を中断するために Open Agent を起動できません。

Open Agent を起動するには、システムから Check Point ファイアウォールをアンインストールする必要があります。

## Mozilla Firefox を使用した Silverlight アプリケーションのテストがマシンによって機能しない

SilkTest の Silverlight サポートは、Mozilla Firefox で使用した場合、マシンによって正しく機能しない場合があります。Mozilla Firefox プラグイン プロセスが、ホストする Mozilla Firefox プロセスを呼び出したときに、ホストする Mozilla Firefox プロセスがプラグイン プロセスを同時に呼び出した場合に、デッドロックが発生する可能性があります。詳細については、[https://bugzilla.mozilla.org/show\\_bug.cgi?id=686861](https://bugzilla.mozilla.org/show_bug.cgi?id=686861) または [https://bugzilla.mozilla.org/show\\_bug.cgi?id=558986](https://bugzilla.mozilla.org/show_bug.cgi?id=558986) を参照してください。この既知の問題は、SilkTest が Silverlight をテストするためにプラグイン プロセスを .NET Framework に読み込んでいるために、SilkTest で発生する可能性があります。このような場合、COM オブジェクトを開放するためにホストする Mozilla Firefox プロセスを呼び出すガベージ コレクションが、.NET Framework によって開始されるタイミングを SilkTest は制御できません。

# SilkTest Classic

## ウィンドウ クラスをタグを付けずに宣言した場合、不明な動作が発生する

SilkTest でタグを付けずにウィンドウ クラスを実装した場合、不明なエラーとクラッシュが発生します。たとえば、以下のコードでは、tag 行は必須となります。

```
[ - ] winclass MyDialogBox : DialogBox
[   ] tag "[DialogBox]"
[   ] locator "//DialogBox[@caption='Check Box']"
```

タグ行が存在する場合、コードは本来の動作をします。ただし、タグ行が存在しない場合、不明なエラーとクラッシュが発生します。たとえば、以下のコードで問題が発生します。

```
[ - ] winclass MyDialogBox : DialogBox
[   ] locator "//DialogBox[@caption='Check Box']"
```

## インストール手順

インストールおよびライセンスの問題については、『[SilkTest インストールガイド](#)』を参照してください。